

社員の皆様へのメッセージ

株式会社 イナテック

代表取締役社長 稲垣良次

2015. 7
No.263

全国安全週間

七月一日から七日まで、厚生労働省が主催する「全国安全週間」実施されました。

今年度の全国統一スローガンは、

『危険見つけてみんなで改善』

意識高めて安全職場です。

六月度は安全週間の準備期間で、イナテック

も六月二〇日にイナテック安全大会を開催いたしました。

その中で説明させていただいたことは、

“イナテック安全大会なのに、なぜTPMなの？”
ということです。

「安全第一はTPMがベースです。TPMの目的としては、

・製造設備に強い人づくり

・製品に強い人づくり」です。

製造の方々も「製造設備に、製品に強くなって下さい」ということです。

なぜ事務間接の方々も製造設備・製品に強くなつてほしいかというと、事務間接の人たちは、製造部門のサービスを担当しているからです。イナテックは製造が利益を生む部署なのです。

「故障」とは・・・

「故障」とは、“故意に”障害を起こすことです。

つまり、設備は勝手に壊れることはなく、人が故障を発生させているということです。

もう少し“故障”について考えてみましょう。

設備故障は、自然劣化型故障と強制劣化型故障に分けられ、その割合は1対9です。

今までは強制劣化型故障をすべて設備故障と呼んで同じ区分でした。

ところが、強制劣化型故障をよく考えてみると、操作ミス(ぶつけた・ソフトの選択を間違

えた・治具を落とした・製品をつけ間違えた・製品を落としたなど)による故障まで『設備故障』とカウントしていた事がわかりました。

これらの操作ミス等、人が起こした事故は設備故障対策ではなく“育”の対策が必要ではないでしょうか。

ベテランの社員さんも「しっかり教えましたか」「我流で教育していませんか」「等々」育てきる・育ちきる』の原点に返って対策をしなければなりません。

強制劣化型故障のもう一つは、一般的に言う「設備故障」です。

刃具欠け、メンテ不良時、つまり給油・点検などができなかつたために故障させてしまったものや清掃が行き届いていないために起きたものが強制劣化型設備故障なのです。

ある事例を紹介します。

イナテックのある機械の運転時間が17万時間間で故障し、同型の機械がイナテックの別の部署では1万9千時間で故障し、更新の申請が出て来ました。

イナテックのチャンピオンデータでは17万時間です。また、普通に使用していれば、メーカーが推奨する4万8千時間は持つはずですが、こ

の1万9千時間での故障はメンテの仕方の悪さ
なのです。もつと勉強して“自主保全”をしつかり
やり、イナテックのチャンピオンデータまで
『使いきる』事がTPMを導入した意義そのもの
で、イナテックのノウハウだと思います。

イナテック社員全員が製造設備に、製品に強
い人になって下さい。我々が目指すのは「TPM
ワールドクラス」なのです。

稲垣邦松会長

発明奨励功労賞受賞

去る六月十七日、全国発明表彰式が常陸宮
殿下並びに同妃殿下ご臨席のもと、ホテルオー
クラ東京にて行われ、稲垣邦松会長が「発明奨
励功労賞」を受賞されました。

邦松会長の功績は大きく、発明協会愛知県
支部理事を三十年間にわたり務められ、西尾
市少年少女発明クラブの設立にあたっては、主
導的役割を果たされました。また、地域の発明
くふう展の審査にも携わるなど、青少年の創
造性の開発、育成にも貢献され、ここに受賞の
運びとなりました。

邦松会長、永年のおつとめ、御苦勞様でした。

これからも健康には留意していただき、ご活躍
を期待しております。

いつまでも我々の鑑であって下さい。
ありがとうございます。

二六

忙處不亂性、須閑處心神養得清。死時不動心、須生時事物看得破。

忙處に性を乱さざらんとせば、須らく閑處に心神を養い得て清かるべし。死時に心を動かさざ
らんとせば、須らく生時に事物を看得破るべし。

一 閑處——ひまなところ。「閑」は閑に同じ。二 養い得て清し——よく鍛練しておく。三 事物を看得
破る——よく物事の道理を看破しておく。死生の理を悟っておく。

多事多忙の場に臨んで、その本性を取乱さないようにしたいと思うなら、平生、暇なところで
その精神をよくよく鍛練しておくがよい。また、死に際の時に臨んで、(安心して大往生を遂げ)、
その本心を動揺させないようになりたいと思うなら、平生、生きているときに物事の道理をよくよ
く看破しておくがよい。